

主体的・対話的で深い学びを、児童生徒が実感できる授業づくり
～国語科における、多様な学習活動を通して～

□アクティブ・ラーニングに関連した研究内容

【指導案や教材の持ち寄り、指導法の共有や協議から】

- ・言語活動の目的意識を明確化
- ・興味関心を引く活動の改善
- ・語彙力を向上させる教材研究
- ・他の教育活動との連携



□研究成果

- ・児童生徒の活動が中心の学習形態に挑戦できた。
- ・興味関心を引く課題や活動を練ることができた。
- ・児童生徒が楽しみながら学びに向かうことができた。
- ・成果を数値化する等、学びの実感を深めること。
- ・語彙力の更なる向上と、表現活動の時間確保。